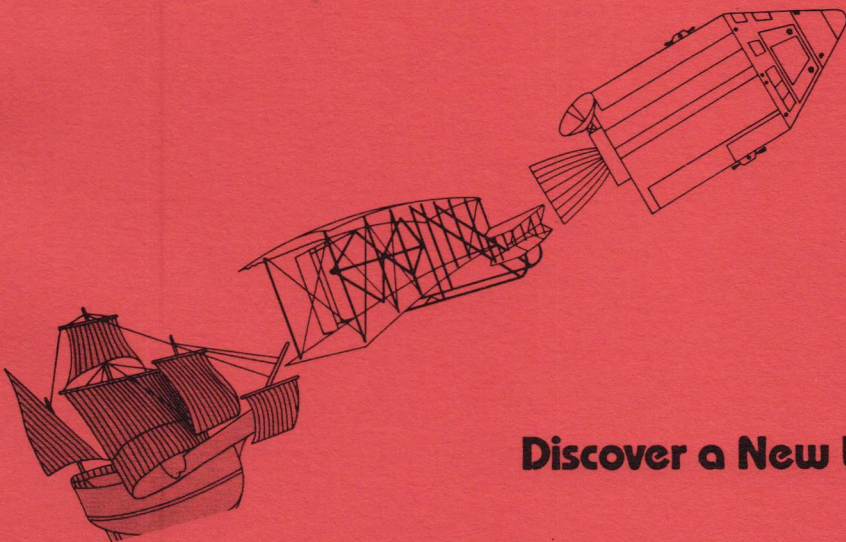
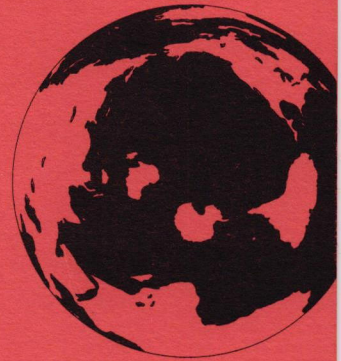


国際ロータリー 第266地区

合同地区委員会報告書

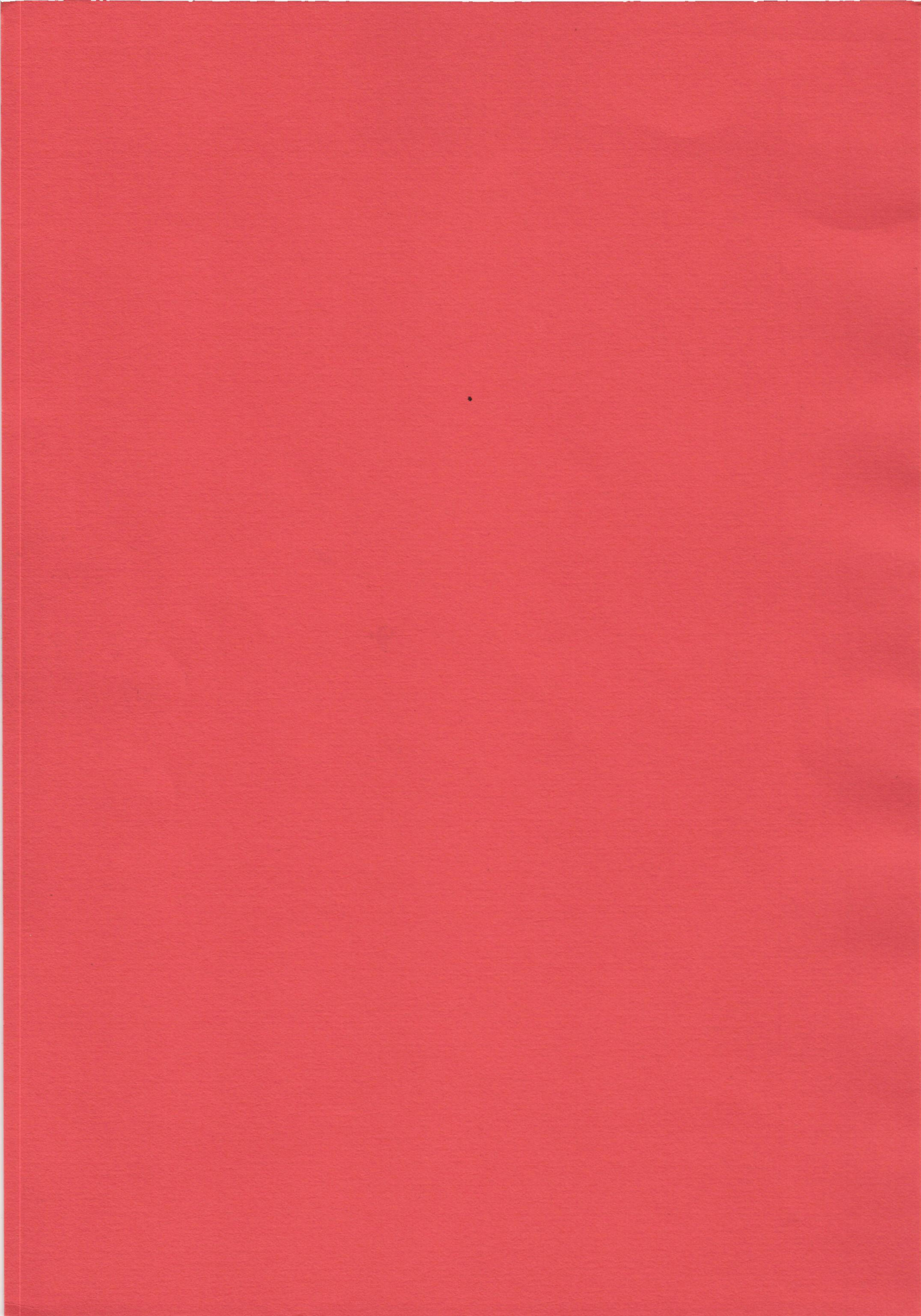
1984~85年度



Discover a New World of Service

と き 59年7月14日 (土)
10:00 ~ 16:00

ところ 東洋ホテル



国際ロータリー第266地区

1984～85年度 合同地区委員会

とき 59年7月14日(土) 10:00～16:00

ところ 東洋ホテル

プログラム

9:30～9:55	登録		
10:00～11:00	本会議		
	開会・点鐘	ガバナー	中村俊一
	ロータリーソング「奉仕の理想」		
	就任の挨拶並びに各委員長の紹介	ガバナー	中村俊一
	退任の挨拶並びに前年度諸報告	直前ガバナー	世戸一夫
	ガバナー連絡会議報告並びに本年度の方針	ガバナー	中村俊一
11:00～12:00	委員会別会議		
	GSE紹介	研究グループ 交換委員長	木川 稔
12:00～13:00	昼食		
13:00～16:00	本会議		
	委員会本年度の方針と活動について	各委員会委員長	
	本年度地区資金予算について	地区資金委員長	吉村清三
	その他		
	閉会の挨拶	ガバナー	中村俊一
	ロータリーソング「手に手つないで」		
16:00	点鐘	ガバナー	中村俊一

ご 挨拶

ガバナー 中 村 俊 一

本日はご多忙中にもかかわらず、パストガバナー各位、ガバナーノミニー、各委員長、委員の方々に、殆ど全員ご出席頂きまして、本当に有難たく厚く御礼申し上げます。

本日の委員会では本年度の活動計画等を話し合い、そして横に広がるように、皆様方が一体となって、地区の運営に当たって頂けるようお願い申し上げる次第です。今日一日十二分に効果的にお過ごし頂きますように、切にお願い致します。

私、7月1日から当地区のガバナーに就任致しました。ガバナーノミニー1年半の間、私なりに努力致したつもりですが……。しかし幸いにも、先輩のパストガバナーの方々が、非常に立派な方々ばかりで、R. I. 本部に対しても立派な足跡を各々残されておられます。その先輩方のご指導、ご援助によりまして、色々な事を和やかな雰囲気の中で教えて頂いております。

また、既に2カ所のクラブの公式訪問を終えたのですが、私が考えていた以上に熱心に取り組んで頂いている姿を見て、非常に心強く感じました。

どうかこの1年間、私に協力して頂きまして、委員会活動を十二分にやって頂きますように、切にお願いする次第でございます。

終わりに、この委員会の皆様方は、昨年度から留任して頂いている方や、本年度からご就任頂いている方もあるようですが、どうか一致協力して頂きまして、この高貴ある当地区の色々な活動部面におきまして、昨年以上に活力ある地区として、活発な委員会活動をやって頂きますように、心よりお願い申し上げまして、就任の挨拶と致します。この1年間よろしくお願い申し上げます。

退任のご挨拶

直前ガバナー 世戸 一夫

光陰天の如しと申しますが、昨年7月月信第1号に「新しい年度を迎えて」と挨拶文を書きましたか、はや1年、今退任のご挨拶を皆様の前で申し上げる事が出来ますのは、現に夢のようであり、過ぎた1年の歩みをかえりみて、今私の心は、ご指導頂いた先輩の方と、ご協力下さいました地区幹事、地区委員、各クラブの会長、幹事様をはじめ、約4,000人に近い当地区のロータリアンの方々に對して感謝の心で一杯になっています。何んとお礼を申し上げてよいか言葉を見出すのに苦しむ思いでございます。

最初は、1昨年神戸ポートピア国際会館で開かれました、268地区266地区合同年次大会の席上、皆様の推挙を受け、歴史と伝統に輝く当266地区のガバナーノミネー（1983～84年度）のご指名を正式に受けました時は、その責任の重大さに、身の引きしまる思いが致しました。その後、ハーバート・A・ピッグマン事務総長より親書を頂き、「やがて、あなたのガバナーとしての奉仕が始まるでしょう、その一年間多くの要請と直面する事でしょう。しかしその大変な仕事はあなたに大きな満足感を与え、その奉仕の喜びは、その後の多くの年月永くあなたの中に忘れ難い感激として止ることでしょう……云々」の激励の手紙を頂き大変勇気づけられましたが、今その任務を終って、静かに反省して見ますと、正に頂いたその言葉の通りであった事を実感しています。

実際面に於ては、ピッグマン事務総長の代理とも云う可き、R.I.日本支局の抽冬忠氏がR.I.との関係に於て、大変親切に面倒を見て頂き、先輩のバスターガバナーの方とのお智慧を拝借して、むづかしい問題も割合にラッキーに処理して行く事が出来ました事を本当に感謝しています。

いくつかの例を挙げて見ますと、G. S. E. の件につきましては、先輩戸田直前ガバナーの時から提案でありまして、英国の111地区とGSE交換を行う

具体的な交渉を、R.I.理事のP I K E氏、当地区の木川稔団長が大変なご協力を頂いて、航空便を何通も出し、電報や電話で打合せて、やっと、山中G S E委員長のもとで団員を選任、9月1日に出発する準備が着々と進められています。

ロータリー財団の学生につきましても、菅田委員長始め、委員の方々の大変なお骨折を頂いて、昨年度の残りの学生の方々も留学先を決定、1985～86年度学生8人と補欠2人を選んで頂き、田中学友委員長のご努力で、学友のO Bの方々のお助けも頂いて、早くからオリエンテーションを可成りインテンシブに行う事が出来て感謝しています。

米山奨学生につきましても、例年の如く京都で選考を行い、月信12号7頁にご紹介しました、学生10名及び、本年度より始まりました地区ガバナーが決める学生1名、その他にクラブが半分もって頂く学生が2名、計13名を選び、これも武尾委員長のお骨折でO Bの組織が立派に出来上りまして、充分なオリエンテーションを行い、カウンセラーの方々の温かい、心のこもったお世話を頂き本当に感謝しています。一方米山奨学会の寄付額も、4月末の統計では、全国第2位でございますが、会員1人当りのご寄付額は、4月末ですでに目標を突破して、15,432円となって、全同第1位となり驚き且つ、感謝しています。(年度末は1人当り17,696円に達しました。)

ロータリー財団の方は、月信13号にご報告しましたように、昨年の例にならって年次大会の剰余金より、各クラブの大会への会員登録数に応じて、\$6,875.3を、各クラブの名前で、財団へ振り込みましたので、相当な成績になる事と、委員の方々と共に喜んでいきます。これも地区年次大会に全クラブの方々が予想以上のご参加、ご協力を頂いたお蔭によるものであります。それによって、ユニバシアート神戸大会、向笠広次直前R.I.会長記念児童公園等への寄付を行う事が出来、又、大会記念として、会場のザ・シンフォニーホール前の、ロータリーの森に太陽電池時計塔を建て、金一封を大阪市長を通して、21世紀協会に寄付する事が出

来るようになり、これも大きな感謝です。これが契機となりまして、伊藤恭一R I理事エレクトのご尽力により、将来大阪でロータリー国際大会が開く事が出来るようになれば望外の喜びでございます。

21世紀を担う青少年への奉仕に於ても、種田PGと津江アドバイザー、川井地区委員長の方々が中心となって、委員の方々のご協力により、去る3月3日～4日、ホテル・サンルート南千里で、大阪南RC、大阪南RACがお世話役になって、全国RAC地区代表本会議を開き、9月10日を「RACデー」と定める事が出来、更にRAC運動を推進する事を決議致しました。

RACは5月13日、IACは昨年7月24日それぞれ年次大会を開催、特にIACは「アジアに井戸を！」のキャッチフレーズで街頭募金を行い、ホストクラブの大阪南西RC外多くのロータリアンも若い人達と一緒に汗を流して募金を共にした年は、大変印象に残っています。

RYLAも吉川委員長のお骨折によって、年々盛んになって参りまして、今年は米山奨学会の留学生も参加して大変国際理解に役立ったように思われます。

国際奉仕部門も活発に行われ、青少年交換も盛んになり、今年度は米国の外にフランスとの学生交換を行い、又、459地区（ブラジル）より2名の学生を受け入れ、新しく交換学生のOB会（REX）をスタートする年が出来ました。WCSでは皆様のご協力により、リベルダーデRCに病院建設（老人用）のため、\$5,000を贈った記念が大きく現地の新聞に報道されました。これは国際交流委員長宮田氏の大変なご努力が大きな実を結んだものと思われます。現在、海外と姉妹クラブをもっているクラブが41クラブ、姉妹クラブの数は83あり、更に増加の傾向にあります。

社会奉仕部門は菅生PG、職業奉仕部門は峯村PGのご担当で、それぞれ重要な働きをされ、一例をあげますと「日本松の緑を守る運動」は当地区よりスタートして、全国的な運動に展開しつつあります。

拡大部門に於ては、平井PGの強力なリーダーシップのもとに、拡大コンセラーや拡大委員の方々の努力が実り、先づ大阪駅RCが1月25日大阪北RCのコンサーで、大阪梅田RCの協力によって誕生、続いて、2月23日、大阪なにわRCか、4月16日には池田くれはRCと大型のクラブが生れ、年度末には懸案の交野RCが26名の会員をもって、枚方一くずはRCの10周年記念事業として、枚方RCのご協力のもとに誕生し6月28日R.I.より認証されました。合計4クラブの拡大増強が成功し、これに関連して、会員増強も、270名以上の増員、6%を超える増強を達成することが出来ました事は、当地区全体が、R.I.会長スケルトン氏のアピールにこたえて熱心にご協力いただいた結果であり、R.I.会長賞も19クラブが受賞の栄に輝かれました事は、ガバナーとして感謝にたえず、R.I.会長よりも、優秀な地区としての感謝状を贈られて参りました、最後の月信14号に詳しく記載し、心より皆様に感謝の意を表したいと存じます。

最後に先輩PGのご指導のもとに、箕面中央、吹田西、枚方、東大阪中、大阪西北、大阪東淀、大阪阪南各RCの方々がIGFのホストクラブとして成功され、地区内全クラブの協力があって立派な成果を収められた事を重ねてお礼申し上げます。当地区の委員の方々は実にご熱心で、その熱意に支えられ押し出されて、相当な成果を挙げ(1983~84)年度を終ることが出来ました事を感謝と感激にみちて、重ねて厚く御礼申し上げます私の報告とご挨拶とさせていただきます。どうも皆様ありがとうございました。

本 年 度 の 活 動 計 画

1984 ~ 85年度

地区ガバナー指名委員会

意義ある業績賞委員会

拡 大 部 門

クラブ奉仕部門

1. 会員増強職業分類委員会
2. 広報委員会
3. 規定情報委員会
4. 雑誌委員会

職業奉仕部門

1. 職業奉仕委員会

社会奉仕部門

1. 社会奉仕委員会
2. 環境資源委員会

青少年奉仕部門

1. 青少年活動委員会
2. ローターアクト委員会
3. インターアクト委員会

国際奉仕部門

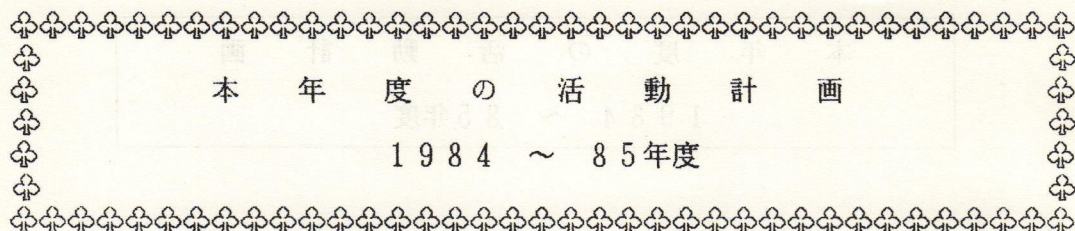
1. 世界社会奉仕委員会
2. 青少年交換委員会
3. 米山奨学委員会
4. 国際交流委員会
5. カンザス・シティ大会行委員会
6. アジア地域大会行委員会

ロータリー財団部門

1. 財団増進委員会
2. 財団奨学金委員会
3. 研究グループ交換委員会
4. 財団学友委員会

第266地区年次大会

地区資金委員会



 本年度の活動計画

 1984～85年度

地区ガバナー指名委員会

委員長	世戸一夫 (大阪難波)	委員	菅生謙三 (大阪北)
委員	原田秀雄 (大阪北)	〃	伊藤恭一 (大阪)
〃	大谷一雄 (大阪西)	〃	伊瀬芳吉 (池田)
〃	田宮佐 (高槻)	〃	種田憲次 (大阪住吉)
〃	峯村英薫 (大阪東)	〃	戸田孝 (八尾)
〃	平井常次郎 (大阪南)		

- (1) 1986～87年度のガバナー・ノミネーの候補を出来るだけ早く選出したい。
- (2) 7月に委員会を開催し、各委員のご意見を承り、検討を開始していただく。
- (3) 8月中に委員会を開き、候補者の推薦を行う。
- (4) 10月末までにガバナー・ノミネーの候補を決定したい。
- (5) ガバナー月信No.6 (11月号) で公示したい。
- (6) 他に候補があれば、12月25日迄に申し出ていただくことにする。
- (7) 申し出がなければ、月信No.8 (1月号) にてガバナー・ノミネーとして宣言することになる。

◎ 第一回委員会開催予定 7月上旬

◎ 第二回委員会開催予定 8月上旬

意義ある業績賞委員会

委員長	世戸一夫 (大阪難波)
委員	種田憲次 (大阪住吉)
〃	戸田孝 (八尾)

- (1) ガバナー月信No.3 (8月号) で選定基準と委員会に関する発表を行う。
- (2) 申請クラブよりの申請期間は10月末日。
(申請手続は「手続要覧」39～40頁参照)
- (3) 選考委員会を11月に開催し、12月1日迄に受賞候補クラブをガバナーに送達する。
- (4) 各クラブへ「意義深い奉仕」に関して積極的に申請するように呼びかけたい。

◎ 委員会開催予定 11月中旬

(東海大) 藤 義 岡 林 一モサノでの大選
 (北陸大) 藤 林 中 一モサノでの大選
 (北国大) 根 山 林 小 一モサノでの大選
 (関大東) 一 山 林 西 賞 委 大 減
 (中 豊) 早 木 藤 〃
 (関 大) 志 丹 目 〃
 (勝 島) 藤 西 〃
 (南海大) 赤 澤 北 〃

(西行線部)
 ア・バ・ソ員委大減

 * 拡 大 部 門 *
 *
 * 担当 P. G. 平 井 常次郎 (大阪南) *

地区拡大委員会

委 員 長	
拡大カウンセラー	村 岡 秀 雄 (大阪東)
拡大カウンセラー	中 村 健 (箕面中央)
拡大カウンセラー	小 林 林之助 (大阪北)
拡 大 委 員	西 村 広 一 (東大阪)
“	藤 木 厚 (豊 中)
“	目 代 涉 (大 阪)
“	西 謚 (高 槻)
“	北 野 清 (大阪城南)

〔活動計画〕

拡大委員について

本年度は東大阪、豊中、大阪、高槻、大阪城南の5クラブから、夫々各1名の拡大委員を委嘱し、所属クラブまたはその隣接クラブの区域限界に、ロータリー拡大の可否を研究し、新クラブの設立業務に尽力願うことを目的として結成した。前年度は大阪駅(スポンサー・大阪北、協力・大阪梅田)大阪なにわ(同・大阪難波、同・大阪南)池田くれは(同・池田)交野(同・枚方一くずは、同・枚方)の4クラブが設立され、交野RCを除く3クラブは認証状伝達式も終了した。

新クラブ設立準備の推進

前年度に準備を完了した大阪鶴見(仮)RCは、大阪城東RCから割譲を受けた鶴見区を区域限界として、7月10日創立された。

次に、東大阪RCは前年度城戸会長エレクトをクラブ拡大委員長として、クラブ設立業務を推進して来たが、城戸エレクトの会長就任と同時に拡大委員会も新構成を以て、新しい段階に入った。

豊中RCをスポンサーとする新クラブも、豊中市東部の千里中央地域を重点に、その設立が急がれている。

続いて大阪城南RCの生野区を重点に、新クラブの結成を要請して来たが、同クラブ創立15周年記念行事の一環として、近くクラブ設立の準備に着手されることとなった。

なお、高槻市に更に1クラブ、大阪RCの区域限界に1クラブを設けることは、永年に亘る当地区の命題であり、両クラブに対して絶大な協力を懇請している。

 * クラ ブ 奉 仕 部 門 *
 *
 * 担当 直前P. G. 世 戸 一 夫 (大阪難波) *

【1】 会員増強委員会

委員長 岡 部 次 郎 (箕 面)

委 員 田 中 光 雄 (八 尾)

“ 安 田 光 憲 (大阪心斎橋)

“ 徳 田 正 也 (枚方くずは)

“ 楠 瀬 寿 二 (大阪大淀)

前年度はR I会長が会員増強を最重要目標の一つにかかげられ、会長賞プログラムとして具体的目標数字も示されました。当地区は前々年度209名純増という高い数字を達成し、続いて前年度も4月末現在で新クラブ2を含めて204名と極めて高い数字を達成しました。本年度も過去2年の傾向を持続することを目標とし、各クラブに於て積極的に取組んでいただくことをお願いすると同時に、委員会としては会員増強東京セミナーをふまえた上で、アンケート調査の実施・会員増強委員長会議を予定し、積極的な活動を推進したい。

(要 領)

- (1) 会員選考委・職業分類委と協力し、特に職業分類表を整備して増強をはかる。
- (2) 各クラブで実状に即し最も有効な増強方策を検討する。
- (3) シニアになった会員の職業分類の補填を必ずする。
- (4) 入会に当たっての手続きを全会員に周知していただく。
- (5) 拡大カウンセラー及び拡大委員会と連携し総合的成果をはかる。
- (6) 入会前及び入会後のインフォメーションを念入りに行い退会防止に役立てる。
- (7) 退会を防止する方途を各委員会と協力して積極的に進める。

(附 記)

会員増強の状況 (1984年4月末現在)

クラブ数	56	(期初 54)
会員数	3,929名	(“ 3,725)
期初に比して	204名増	
増加率	5.47 %	

上記会員数のうち、新クラブ2の会員数 102名

1983年7月1日以降に	会員純増のあったクラブ	4	4
	増減のなかったクラブ	1	
	減少したクラブ	1	1

【2】広報委員会

委員長 船田 芳一 (大阪)

委員 高木 一見 (大阪南)

“ 中村 覚 (大阪北)

1. 委員会の方針

ロータリーの綱領・精神と、地区内クラブの活動を一般の人びとに広く知ってもらい、理解の輪を広げるために、各クラブの広報委員との連携を密にし、新聞、放送、通信社等の報道機関に広報材料を提供すると共に、協力を要請する。

2. 活動計画

- ① 地区内の新聞・放送・通信社に設けられたロータリー担当記者との連絡を密にする。「ロータリーの友」その他の資料をガバナー事務所から送付すると共に、随時、懇談会を開催し、担当記者の理解と関心をたかめる。
- ② 本部のニュースや地区のニュースはガバナー事務所を通じ地区委員会から、各報道機関のロータリー担当記者に連絡する。
- ③ 各クラブの活動で広報すべき材料は夫々のクラブから各社のロータリー担当記者へ直接連絡することとしたい。ただし、数クラブにわたるものについては、地区広報委員会が、ガバナー事務所を通じて行う。
- ④ 新しい広報手段の開発を研究する。

尚、八月下旬に、在阪の報道機関のロータリー担当者とガバナー、担当パストガバナーとの懇談会を開催する予定である。

【3】規定情報委員会活動計画

委員長 林 董 (豊中)

委員 池永 義和 (東大阪)

“ 中筋 一朗 (大阪西)

当委員会はロータリーに関する諸規定及び諸情報の普及徹底に努める。

1. 諸規定の普及徹底に関する活動

- ① 改正されたクラブ定款の普及徹底を図ると共に、新しい推奨クラブ細則に基づき各クラブの細則を改正(クラブ奉仕部門をクラブ奉仕委員会に改める等)されるよう要請する。
- ② 諸規定の普及徹底を期するため、各クラブに規定委員会又は規定担当者を常置してもらうよう要望する。

- ③ 1986年の規定審議会に提出する改正案の準備
(提出期限1985年5月1日)

2. ロータリー情報の普及徹底に関する活動

- ① 9月12日(水) 14:00~16:00、業業年金会館に於て、クラブ
ロータリー情報委員長(規定委員長又は規定担当者)会議を開催し、1984
年版手続要覧の解説と共にロータリー情報全般の普及徹底を企画している。
- ② 1984年版手続要覧は成るべく全会員にもたせ、「ベーシックライブラ
リー」と共に活用されることを要望する。
- ③ 委員会として新旧手続要覧の改正個所の対照表を可能な範囲で作成する予
定である。

【4】雑誌委員会

委員長 安竹一郎(大阪西)

委員 村主恵快(茨木)

“ 松本盛二(大阪)

1. クラブ雑誌委員長会議の開催

「ロータリーの友」の愛読を奨め理解を深めるため、出来るだけ早い機会に
地区内全ロータリークラブの雑誌委員長会議を開催する。(10月2日開催予定)
このためガバナー、担当P. G. と日程その他を調整し、事前に「ロータリー
の友」委員会とも打合せをすませしておく。会議では次のような事項について意
見交換をしたい。

- ① 「ロータリーの友」をより親しみ易く、ロータリアンにとってより有益な
ロータリー情報誌とするため編集方針や内容についての意見。
- ② 地区からの寄稿は近年増加しているが、さらに活発にするためにはどうす
ればよいか。
- ③ 「友」を会員個人だけでなく、一般の人々にも読んでもらうための工夫。
- ④ 「友」が各クラブでどの程度読まれているか。
- ⑤ 各クラブで「友」の閲読率を高めるため、具体的にどのようなことを実施
しているか。

2. 雑誌月間のP. R.

4月の雑誌月間を通じて「友」の愛読を奨めるP. R. 活動を実施する。

 * 職業奉仕部門 *
 *
 * 担当 P. G. 峯村 英薫 (大阪東) *

【1】職業奉仕委員会

- 委員長 中島 誠 (池田)
 委員 大西 淳 (大阪平野)
 常持 敦 (寝屋川)
 村生 悦三 (大阪難波)
 津田 幸治 (東大阪)

職業奉仕活動もいささかマンネリ化して来たとの声が最近聞かれますので、当委員会では昨年10月地区内54クラブに対して実施いたしました第2回職業奉仕についての自問自答アンケート集計表を慎重に検討いたしました。本年度の活動計画を決定することにいたしました。上記の集計表に依りますと、ロータリアンの職場に於ての実践活動はまず良好と云えますが、自己の職業に対する価値認識及びロータリー情報活動については平均して点数が低いと云う結果を示しております。特に情報面について問題点が多い様に認められますのでまづ

第一に昨年わが国でも発刊されましたロータリアン必携は、これまでの刊行物に比べて比較的理解し易くなっておるものと認められますので、これを一層普及させる様願います。

第二に前年度も重点的に四つのテストの浸透をお願いしましたが、ロータリアンには理解できても地域社会の人々にはやや取り付きにくい傾きがありますので1977~78年度の地区職業奉仕委員会が作成配布された「六つの心」即ち

- 「おはようございます」と云う明るい心。
- 「はい」と云う素直な心。
- 「すみません」と云う反省の心。
- 「わたしがします」と云う積極的な心。
- 「ありがとうございます」と云う感謝の心。
- 「おかげさまで」と云う謙虚な心。

の「六つの心」を四つのテストと共に再活用していただく様願います。

第三に自問自答のアンケートで青少年に対し、職業奉仕の理念の実践について話し合ったり又援助をしたい、と云う項目も必ずしも良好とは認められませんので、青少年委員会と緊密な連絡をとって、職業情報の提供その他青少年と密接な連絡を図る様願います。

第四にロータリアンはそれぞれ職業奉仕を実践しておられるばかりではなく、職業分類を代表するものとして自分の所属する同業組合、或はいろいろの関係団体ですでに重要な地位について活躍しておられるロータリアンも多い訳であります。現在の困難な状況に鑑みまして特段の指導力を発揮され、社会的責任を立派に果されますことを期待いたします。

第五は自問自答アンケート集計表で最低の成績を示しました国際職業奉仕であります。貿易摩擦が問題となっております今日、特にロータリー綱領にそってこの国際職業奉仕に留意される様願います。

* 社会奉仕部門 *
* 担当 P. G. 菅生謙三(大阪北) *

【1】社会奉仕委員会

- 委員長 浜田実男(高槻東)
委員 永野啓之介(豊中-大阪国際空港)
 竇田重幸(大阪梅田)
 西田三郎(大阪北)

I 活動方針

1. ロータリアンの綱領の推進をはかることが、各クラブの社会奉仕委員会の任務であることを認識させ奨励する。
2. 各クラブ単位の社会奉仕活動は全員参加により、奉仕の理想の実現をはかるための実験活動であることを認識させる。
3. 都市型ロータリークラブに於ては単一クラブ活動では不充分として近隣クラブ、例えば親子又は区域限界を共有する所謂二階建クラブが合同して実施している奉仕活動等を参考資料として、地区内クラブに提供する。
4. 地区として全域的に実施するにふさわしい奉仕活動を検討する。

II 活動計画

1. 7月19日(木) 業業年金会館に於て、社会奉仕委員長会議を開催する。
2. 12月13日から14日まで、地区内全クラブが参加する行事として、白浜のホテル“川久”に恵まれない子供達を一泊旅行に招待する。
3. 前年度実施した、社会奉仕アンケート調査を本年度も再度実施する。
4. 大阪府民生部より資料(社会福祉施設一覧等)の提供を受け、地区内各クラブに提供する。

【2】環境資源委員会

委員長 三成利男(大阪南) 委員 平川恵一(大阪北)
委員 西村一夫(池田) “ 常盤泰弘(守口)

(方針と活動)

- (1) 全国ガバナー会議で社会奉仕活動の重点として、「日本の松の緑を守る運動」に協力支援することが申し合わせられて、三ヶ年計画の最終年度を迎え、委員会編成は前年度に引続き任命せられた。当地区提唱の全国的国民運動につき、特に精神運動として充実した成果をあげるため、更に情報資料の提供に尽力したい。引続き会員勸奨のほか、84年7月より開始の同運動基金作りの為、一人千円程度の寄付活動を強制を伴わずに支援する。
- (2) 「松の名所・史跡復元」の為、去年は大阪城に友愛の松を寄贈したが、本年は四天王寺の「源義経の鎧かけの松」を復元したい。
- (3) 地区内各クラブ合同で、昨年、都市緑化祭に参加の如く、地域に密着した環境資源の愛護活用の方策を検討の上、助言援助する。

* 青少年奉仕部門 *
*
* アドバイザー 津江孝夫(大阪南) *

【1】青少年活動委員会

- 委員長 白井治義(大阪西北)
委員 吉川稔(寝屋川)
" 橋本隆(八尾東)
" 吉田弘(枚方)
" 坂口久二男(大阪淀川)

(抱 負)

今回図らずも地区青少年活動委員長の重責を担う事になった。
幸い前委員長の吉川稔氏が委員として留任して戴いたので御教示を得て、前委員長の政策を踏襲し、余り逸脱しないで運営していきたいと思っているが、地区委員会の方針以外に各クラブの委員長の意見を充分聞き、予算の範囲内にてライラ以外の行事をも組入れていく方針である。

(活動計画)

- (1)ブロック別青少年委員長会議
例年通りAブロックを市内28RC
Bブロックを市外29RCとし、先ずBブロック委員長会議を6月20日、Aブロック委員長会議を7月20日開催の予定である。

(議 題)

各クラブの青少年に対する、事業計画の情報交換とインターアクト、ロータリーアクトクラブ設立の有無並に今後の予定、又その溢路の話し合い、ライラの実施予定とその取り組み方について協議するが特に今回は、多数の青年を如何にして、ライラに参加させるかを主な議題として取り上げて討論したい。

組	月日・場所	ホストクラブ	参加クラブ	クラブ数
A	7月20日 近鉄阿倍野 百貨店	大阪住吉	大阪・大阪阿倍野・大阪駅・大阪阪南・大阪東・大阪東淀・大阪平野・大阪城南・大阪城東・大阪北・大阪南・大阪港・大阪難波・大阪なにわ・大阪南西・大阪西・大阪大手前・大阪大淀・大阪西北・大阪西南・大阪心斎橋・大阪城北・大阪住之江・大阪住吉・大阪天満橋・大阪梅田・大阪うつば・大阪淀川	28
B	6月20日 業業年金 会館	地区 委員会	大東・東大阪・東大阪東・東大阪中・枚方・枚方くずは・茨木・茨木東・池田・池田くれは・門真・箕面・箕面中央・守口・寝屋川・大阪柏原・千里・摂津・四条畷・吹田・吹田西・高槻・高槻東・豊中・豊中一大阪国際空港・豊中南・八尾・八尾東・八尾中	29

(2) ライラ (ロータリー青少年指導者養成プログラム)

(イ) 目的

18才より28才迄の青少年を毎回50名程度集めてロータリーの精神を理解させ、良き青少年の指導者としての資質を伸ばし、地域での奉仕活動を助長さす様に訓練する。

(ロ) 開催日

Aブロック 昭和59年 9月22日～24日

Bブロック 昭和60年 4月27日～29日

(ハ) 開催場所

大阪府総合青少年野外活動センターか、大阪府立青少年海洋センターの何れか上記日程にてライラ初級セミナーを2回実施する。

ABブロック別編成は青少年委員長会議編成と同じである。

【2】ローターアクト委員会

委員長 飯原弘章 (大阪住吉)

委員 川井信明 (大阪南)

“ 津川正幸 (池田)

“ 目幸等 僊 (大阪天満橋)

“ 米田誠宏 (高槻)

ローターアクトの目的達成のため、提唱ロータリークラブがローターアクトクラブを指導・育成し、また各ロータリアンも常にローターアクトクラブに対して、理解と認識を深めていただくようお願いしたい。

本年度は過去の良き伝統と慣行に従って活動計画をたてると共に、新クラブの提唱を未提唱ロータリークラブに呼掛け、また在来15RACに対しても常に会員の増強を心掛け休眠会員が出ないよう指導し、本年度地区ローターアクトの活動目標

OPEN YOUR HEART !

FOR ACTION AND COMMUNICATION.

「 心を開いて 活動と交流を 」

を促進したい。

当委員会は地区内組織の各会合や協議事項の検討・決定、および地区内ローターアクトの諸行事には常に関与して指導援助すると共に、提唱15ロータリークラブのローターアクト委員会との連絡を密にし、当地区ローターアクトクラブの育成・強化に努めたい。

本年度活動計画

1984～85年度 RI 第 266地区ローターアクト年間行事予定表

開 催 日				行 事
84年	7月	8日	日	地区合同連絡協議会および第1回リーダーシップ・フォーラム
	"	13日	金	提唱RCローターアクト正副委員長会議
	"	15日	日	海外研修オリエンテーション(第3回) 第1回は5月27日、第2回は6月24日に実施済み
	8月	1日	水] 海外研修
	"	7日	火	
	9月	9日	日	第1回新人オリエンテーション
	10月	28日	日	海外研修 解団式
	11月	11日	日	大阪ゾーン連絡協議会
	"	18日	日	北大阪ゾーン連絡協議会
85年	1月	19日	土	第2回提唱RCローターアクト正副委員長会議 第2回リーダーシップ・フォーラム
	"	20日	日	第2回新人オリエンテーション
	4月	21日	日	ローターアクト 新旧会長幹事会
	5月	12日	日	ローターアクト地区年次大会

随 時-----地区ローターアクト委員会

毎月1～2回-----地区ローターアクト役員会

地区内ローターアクトクラブ一覧表

会員表(ローターアクト)【6】

◎北大阪ゾーン

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 池田 R A C | 4. 寝屋川 R A C |
| 2. 茨木 R A C | 5. 高槻 R A C |
| 3. 守口 R A C | |

◎大阪ゾーン

- | | |
|---------------|-----------------|
| 6. 大阪 R A C | 11. 大阪西南 R A C |
| 7. 大阪東 R A C | 12. 大阪天満橋 R A C |
| 8. 大阪西 R A C | 13. 大阪住吉 R A C |
| 9. 大阪南 R A C | 14. 八尾東 R A C |
| 10. 大阪北 R A C | 15. 東大阪 R A C |

1984～85年度R I 第 266地区 地区ローターアクト役員

役職名	所属クラブ	氏名
代表	高槻RAC	中島久依
幹事	大阪西南RAC	前田和生
北大阪ゾーン 代理	守口RAC	柳田靖
大阪ゾーン 代理	八尾東 RAC	浅井英雄
会計	茨木RAC	久保英男
副幹事	大阪住吉RAC	楯本智也

【3】インターアクト委員会

委員長 一ノ瀬 博 (大阪住吉)

委員 平岡 英信 (大阪南)

“ 仲野 欣弥 (大阪阪南)

“ 畑田 豊 (大阪城南)

“ 阿部 晴彦 (大阪)

1. インターアクトクラブの目的達成のため、提唱ロータリークラブと各インターアクトクラブの積極的な協力態勢を常に保ち、ロータリークラブ員・インターアクトクラブ員及びロータリーアクトクラブ員相互の親睦を深める。
2. 海外研修等を通じ幅の広い人格の形成をめざすと共に、奉仕する喜びと世界平和に貢献することのできる、国際的視野を持った青少年の育成につとめる。
3. 新たに発足した大阪産業大学高校大東校舎インターアクトクラブを含め、6校が互いに協力し、友好を深めると共に、意識の高揚を図りつつ、新しいインターアクトクラブの設立を促進する。
4. 隣接の264地区インターアクトクラブと諸活動を通じて交流の輪を広げ、インターアクトクラブの目的に向かって一致協力していく。

* 国際奉仕部門 *
*
* 担当 P. G. 伊瀬芳吉(池田) *

【1】世界社会奉仕委員会

委員長 増田 鼎(八尾)

委員 吉野昭夫(大阪駅)

“ 神崎 茂(大阪西)

“ 中西正二(大阪西)

世界社会奉仕は援助を提供するクラブまたは地区と、受入れるクラブの両者が相協力して、当時国間の国際理解を増進することを目指すプロジェクトである。

1. 方針

- ① 世界社会奉仕プロジェクトの援助提供側としての実態を踏まえて、当委員会は第1の任務として、各RCが姉妹関係その他密接な関係にある海外の提携相手先のRCとの協力によるクラブベース実施の奨励に努める。
- ② 当委員会は第2の任務として、種々の理由によりクラブベースで実施しにくい立場にあるクラブの委託を受け、クラブ単独では実施困難なプロジェクトまたは各クラブへの模範となるようなプロジェクトを立案し、各クラブ担当委員長の賛同を得て、その早期実施に努める。
- ③ 国際奉仕部門傘下の国際交流委員会その他の各委員会との連携を密にしつつ、プロジェクトの効率的な運用を期する。本年度はアジア地域大会行委員会とも協力を推進して、大会開催国へのプロジェクト提供の可能性も併せて検討したい。
- ④ RIのWCS登録プロジェクト担当部門と積極的に接触に努め、まず現状の実態把握に努めたい。

2. 計画

- ① 早急にアンケートを実施して各クラブのプロジェクトへの対応を察知して、地区レベルのプロジェクトに対する素案を固めるとともに、クラブWCS委員長会議開催への準備を早急に整えたい。
- ② 前年同様、地区レベルのプロジェクトに対して各クラブより1人当たり、3,000円の協力をお願いする。

- ③ マニラで11月中旬に開催を予定されているアジア地域大会へは、地域大会行委員会との提携を保ちつつ、開催国フィリピンへのプロジェクト提供の可能性や、地域大会行委員会主催の大会へのジョイント参加を前向きに検討したい。このため、前記クラブWCS委員会会議を例年より早目に開催するよう配慮する。
- ④ 前年度まで継続のプロジェクトは特殊事情のあるものを除き、本年度は一応見合わせる方向で処理したい。但し、予想を許さない突発的または偶発的な災害等の発生に備えて、その対応を考慮する。
- ⑤ RIの担当部門との接触積極化に関しては、RIの担当者との書面による交流を重ねることにより、現状の実態把握に努めるとともに、各種プロジェクトのより効率的な運用の可能性を摸索したい。

【2】青少年交換委員会

委員長	橋本憲之(大阪南)
委員	中西正二(大阪西)
〃	入江和夫(高槻)
〃	小泉光恵(千里)
〃	小林一弘(摂津)
〃	坂本旭(大阪東淀)
〃	阪本義樹(東大阪)

1. 青少年交換ファンドと青少年交換計画

- ・今年度もファンドのために会員1名につき年額2,000円の拠出を願う。他方、長期交換学生受入れクラブに対し、年額90万円(交換学生小遣い、弁当代30万、ホストファミリー援助24万、教育費補助36万)を援助する。
- ・レックス(交換学生OB・OG会)活動の充実を計るためで、できる限りの助力をしたい。派遣や受入れに対する彼等の協力を得たい。
- ・最低4～5年に一度は各クラブで青少年交換を実施されるよう計画願いたい。
- ・地区青少年交換担当者会議を8月7日(火)15時～17時、大阪YMCA会館にて開催し、1985～86年度交換計画について協議する。

2. 受入れ中の長期交換学生の帰国（8名）

氏 名		スポンサーRC	ホストRC	通学校	帰国予定
1) James R. Steman	男	D 595 (米) Golden Valley RC	大阪北	甲南高校	1984. 7
2) Lisa A. Wedel	女	D 595 (米) Burnsville RC	寝屋川	門真南 高校	同上
3) Andrea E. Myklebust	女	D 625 (米) Downtown La Crosse RC	箕面	雲雀丘 学園高校	同上
4) Amy D. Leh	女	D 751 (米) North Hunterdon RC	大阪西	梅花 学園高校	同上
5) B. Andrew Hoover II	男	D 739 (米) York RC	大阪東	清風高校	同上
6) W. Sean Brecht	男	D 584 (米) Sequin RC	大阪阿倍野	清風高校	同上
7) Leopoldo Barretto Jr.	男	D 459 (ブラジル) Mococa RC	八尾	清風高校	1984. 10
8) Osato Paulo	男	D 459 (ブラジル) Campinas RC	大阪難波	清風高校	1985. 2

3. 派遣中の長期交換学生の帰国（5名）

氏 名		スポンサーRC	ホストRC	通 学 校	帰国予定
1) 平井久代	女	寝屋川	D 584 (米) San Antonio RC	Churchill H. S.	1984. 7
2) 鳥井晶子	女	大阪西	D 787 (米) Poultney RC	Poultney H. S.	同上
3) 山村 明	男	吹田西	D 707 (加) Mississauga RC	Woodland H. S.	1985. 3
4) 吉川紀子	女	豊 中	D 595 (米) Alexandria RC	Jefferson Senior H. S.	同上
5) 吉川純子	女	豊 中	D 595 (米) St. James RC	St. James Senior H. S.	同上

4. 受入れの長期交換学生 (7名)

氏名		スポンサーRC	ホストRC	通学校	来日予定
1) John Todd Partridge	男	D 584 (米) San Antonio RC	吹田西	府立千里高校	1984. 8. 21
2) Bonnie Catherine Duck	女	D 707 (加) Bolton RC	吹田西	府立北千里高校	同上
3) Annie Marie Winowiecki	女	D 629 (米) Trajers eCityRC	大阪阪南	四天王寺高校	1984. 8. 21
4) Dominic John Fendt	男	D 627 (米) Fond Du Lac RC	豊中大阪国際空港	雲雀丘学園高校	同上
5) Margo Elizabeth Hamburger	女	D 787 (米) Concord RC	池田くれは	同上	同上
6) Tracy M. Thomas	女	D 595 (米) RobbinsdaleRC	豊中	箕面自由学園高校	同上
7) John Joseph Fisher	男	D 595 (米) ShakopeeRC	豊中	箕面学園高校	同上

上記学生に対するオリエンテーション並びに歓迎会を8月24日と25日に実施する。

5. 派遣する長期交換学生（4名）

氏名		スポンサーRC	ホストRC	通学校	出発予定
1) 泉 泰	男	豊中大阪 国際空港	D 646 (米) Galesbu rg RC	Galesbu rg H. S.	1984. 8. 16
2) 加藤 徳子	女	大阪阪南	D 651 (米) Metropo lis RC	Massac County H. S.	同上
3) 小林あい子	女	大阪淀川	D 726 (米) IslipRC	Islip H. S.	同上
4) 青木 香澄	女	吹田西	D 584 (米) Eagle Pass RC	Eagle H. S.	同上

上記学生に対するオリエンテーションを8月3日と4日に実施する。

6. 夏期交換学生（3名）

氏名		スポンサーRC	ホストRC		予 定
1) 平井 久子	女	摂 津	D 671 (米)	派 遣	1984. 7. 19
2) 大林 幸子	女	池 田	D 671 (米)	"	1984. 7. 19
3) Charla Walston	女	D 671 (米) Murray RC	7/29~8/26 摂津RC. 大阪東淀RC.	受 入	1984. 7. 13

7. 受入れと派遣長期交換学生関係プログラム。

青少年交換学生ならびにホストクラブ、ホストファミリーへのオリエンテーション、カウンセラーの集い、1985~86年度交換学生募集活動と受入れ準備など関係プログラムを実施する予定。

【3】米山奨学委員会活動計画

委員長 武 尾 敬之助 (大阪西北)

委員 塩 川 二 朗 (千 里)

“ 大 野 眞 義 (高 槻)

“ 岡 本 恵 年 (大阪西南)

1. 募金目標

当地区前年度寄付実績は普通寄付15,088,500円、特別寄付50,829,500円、合計65,918,000円となりました。地区会員1人当り15,000円の目標は17,696円と達成しました。本年度地区目標額は前年並みの1人当り15,000円、地区総額60,000,000円以上としたい。(前々年度寄付総額67,473,000円、1人当り19,028円には及ばなかった。)

- (イ) 普通寄付、前年度の普通寄付はクラブにより会員1人当、最低 2,000円から最高 7,000円、地区平均 3,949円である。平均以下のクラブに対してはその増額の依頼状を新年度クラブ会長宛なるべく早い機会に出す。
- (ロ) 特別寄付、米山準功労者への申込みを引続き積極的に勧める。又クラブ米山奨学委員長にお願いして準功労者が継続して寄付されるよう注意を喚起して頂くようにする。幸いに米山功労者は年々増加続出しているのも、機会あるごとに意識的に米山功労者のPRを更におし進め、米山功労者の少ないクラブには一層協力して頂くようお願いする。
(米山功労者は前年度 104名、前々年度 109名)

2. 奨学生の援護活動

米山記念奨学会の主旨に沿って、奨学生に対する世話クラブ、カウンセラーの援護活動は順調に進められている。

- (イ) 奨学生の余暇を選んでリクリエーション遠足を勧める。11月下旬の日曜日、名案の御提供をお願いする。
- (ロ) 米山奨学生の卓話・米山月間だけでなくいつでも奨学生の卓話が斡旋できるといふPRを各クラブに行い、クラブからの積極的な申込みを待つ。
- (ハ) 米山奨学生の年齢に拘わらず地区ローターアクトクラブと日常接触し、行事にも参加してアクターを通しての国際理解を深める。地区青少年部門アドバイザー及びRAC委員長と共に早急に具体化したい。
- (ニ) 在日米山奨学生終了者の地区同窓会を結成して、彼らの在日中の国際親善を計る。そのために年次の親睦会を元米山奨学生及び関係ロータリアンと共に催す。

3. 米山奨学生の募集

前年度当地区の米山奨学生数は31名（内1名はCT）で昭和59年3月末迄に終了した数は19名であった。逐年留学生の米山奨学生に対する認識は益々高まり、今年度地区割り当ての新規奨学生数に対し、2.4倍の応募があった。今年度新たに設けられた地区米山奨学生1名及びCY1名を含めて、今年度の地区米山奨学生の総数は27名となる。

（他に地区・クラブ特別奨学生1名がある）

4. 米山事業のPR

(イ) IGF等の場で地区米山奨学委員が手わけして、米山寄金への御礼と“米山”への参加を勧めるスピーチをする。

(ロ) 米山月間を主体として、なるべく多くのロータリークラブで米山の地区役員の卓話を持つようにする。

【4】国際交流委員会

委員長 宮田宏章（大阪北）

委員 田代通（守口）

“ 吉川謹司（東大阪東）

“ 野村浩司（大阪港）

1. 1984～85年度は当地区と第459地区（ブラジルサンパウロ州）とのマッチド関係の3年目、即ち最終年度である。
2. 昨年度は459地区直前ガバナー来日の際にサンパウロの日系老人の為の病院建設資金の援助として、5千ドルをWCSプロジェクトの一環として贈呈し、国際交流を深めることが出来た。
3. 当地区と第459地区及び他地区クラブとの交流状況については、例年通り早期にアンケートを実施し、アンケート結果に基づき各クラブの国際交流担当委員長会議を開催し、当地区としての交流方向を検討したい。
4. 昨年度は、マッチド地区よりの交換学生の受入れが実現し、友好を深めた。交換学生受入れは下表の通り。

学 生 名	ホストクラブ
MR. BARRETTO JR. LEOPOLDO	八尾（12月より）
MR. OSATO PAULO	大阪難波（2月より）

本年度も、青少年交換委員会及び関連委員会と相談し、引続いて当交換を継続したい。当地区からも出来れば、459地区への交換学生を送ることも考えたい。

5. 過去2年間に於て、下表のマッチド組合せが実現したが、本年度も相互交流を進めたい。

当 地 区	4 5 9 地 区	当 地 区	4 5 9 地 区
1.東大阪東	アッティバイヤ (マッチド)	4.大阪北	カンピーナス (友好)
2.枚方くずは	ブラガンサ・パウリス スタ (友好)	5.大阪港	ジュンディアアイ (友好)
3.東大阪中	カンピーナス・北 (友好)	6.八 尾	モコカ (マッチド)

6. WCS、青少年交換委員会、及び関連委員会とも協力を図り、マッチド地区に限らず友好交流を深めたい。

【5】カンザス・シティ大会行委員会

委員長 嘉 納 尚 (大阪西)

委 員 吉 田 三七雄 (大阪南)

“ 本 田 泰 幹 (大阪西南)

1. 方 針

本年度国際大会は1985年5月26日(日)から29日(水)までの4日間米国カンザス・シティ(ミズリー州側)のコンベンションセンターで開催される。ミズリー、カンザス、オクラホマの3州は地理的に全米の中心に位置し、此の地方は「フロンティア・ウエスト」と呼ばれ、最初の西部開拓者たちが幌馬車を駆ってミシシッピー川を越えて西進し、新生活へのスタートをきった十字路的存在である。従って一般日本人に馴染みの深いニューヨーク、サンフランシスコ等の都市とは一味違った、いわばアメリカ人の心の琴線に触れるものを持つ都市と言えよう。

委員会としては肌理細かい情報収集を行ない、地区会員にカンザス・シティをよく理解して頂くと共に気軽に参加出来るような企画を立案参加意欲の高揚を図りたい。

2. 計 画

- 1) カンザス・シティは一般に馴染の薄い都市であるため、関心を深めるよう多角的に情報を収集して計画立案する。
- 2) 早期に国際大会参加の意義と渡航計画を発表して心の準備を整えて頂く。
- 3) 「ロータリーの友」「ガバナー月信」で随時必要情報を提供する他、各クラブ国際奉仕委員会を通じて参加のお願いをする。
- 4) 過去の国際大会関係資料を収集整理して参加への資料を整える。

【6】アジア地域大会行委員会

委員長 山 田 重 迪 (大阪梅田)

委 員 水 野 正 人 (大 阪)

“ 荻 野 良 雄 (大阪梅田)

1. 方 針

本年11月14日～17日フィリピン、マニラ市で開催される本大会には日本から家族を含み約 2,000名程度の参加が要請され、当地区より約 500名(家族を含む)程度の出席を確保することが必要であるので、各クラブでは出来る限りその主旨で参加されたい。各クラブの参加目やすはクラブ会員の約13% (家族を含む) としたい。

2. 活動計画

- 1) 各クラブ会長宛書信にてマニラ地域大会行に関する実行委員を決定してもらおう。(出来れば参加予定者の中から一名指名)
- 2) この実行委員と連絡を密にし、アジア地域大会国内委員会よりの情報の提供及び交換を通じ積極的に参加を勧誘する。
- 3) ガバナー月信を通じ大会プログラムの案内、フィリピン、マニラの紹介を行い関心をたかめる。
- 4) 各RC会合で国際奉仕委員長雑誌委員長及びアジア地域大会行実行委員より「ロータリーの友」などで本大会に関する情報をPRしていただく。予算として10万円を要請したい。

* ロータリー財団部門 *
*
* 担当 P. G. 戸田 孝 (八尾) *

【1】財団増進委員会

委員長 石川 増雄 (大阪西南)

委員 渡辺 宏道 (豊中)

〃 山田 和義 (大阪うつば)

〃 栞田 圭児 (大阪北)

〃 大社 照史 (大阪淀川)

1. 財団増進委員会の基本的使命

下記6つのプログラムを通じて、各国の国民の間に相互理解と友好親善関係を増進すると共に、ロータリアンのこれ等プログラムへの参加を求めて、財団に対する財的支援を奨励することを基本的使命とする。

- | | |
|----------------|---------------------|
| (イ) 大学院課程奨学金 | (ロ) 大学課程奨学金 |
| (ハ) 職業研修奨学金 | (ニ) 障害者教育に従事する教師奨学金 |
| (ホ) ジャーナリズム奨学金 | (ヘ) 研究グループ奨学金 |

2. 活動方針

- ① 本年度も一人当たり平均寄付額は70ドル以上と設定する。
- ② この目標達成は容易ではない。寄付はあくまでも個人の自由意志であるので、相当努力しないと達成は難しい。戸田担当P. G. を中心とし、地区委員、各クラブ財団委員長と連絡を密にし、あらゆる会合を通じ、根気よく努力したい。

3. 活動計画

- ① 新年度発足早々に計画を立ててもらうため、84年6月の地区協議会、財団部門にて、戸田説明リーダーより具体的増進の方法をクラブ財団委員長に説明する。
- ② 地区増進委員会を適時間催し、R. I. に正式に登録された成績を調査検討し、クラブ間の格差の是正に努力する。又、ガバナー月信に適時その成績表をのせ、参考とする。
- ③ 9月にクラブ財団委員長会議を開催し、財団関係の他の地区委員会、並にクラブ財団委員長と連絡を密にし増進を計る。

- ④ 11月の財団月間にはクラブ独自の活動を依頼し、財団学友委員会にお願いし、クラブよりの卓話依頼に対処する。
- ⑤ 特に新クラブ結成時、並に新入会員によくインフォメーションし、入会時に準PHFになってもらう様に、又準PHFの2年目以後の寄付の継続に特別な配慮をお願いする。
- ⑥ IGFには各委員分担出席し、財団についての各種情報の提供、クラブ個々の実情をも掌握して、適切なアドバイスをする。

担当予定

1組	10月13日 (渡辺)	2組	10月27日 (渡辺)	3組	12月1日 (大社)
4組	12月15日 (山田)	5組	1月19日 (石川)	6組	2月2日 (榊田)
7組	2月16日 (山田)				

【2】財団奨学金委員会

委員長	菅田 栄治 (大阪)
委員	山口 次郎 (寝屋川)
〃	藤井 昭三郎 (門真)
〃	名張 隆政 (吹田)
〃	白羽 弥右衛門 (大阪阿倍野)
〃	高士 修 (守口)
〃	内藤 和夫 (千里)
〃	西村 典三 (東大阪中)

ロータリー・インターナショナル (RI) は国際間の相互理解活動を展開するために会員の寄附によるロータリー財団を設け、その主要な事業として留学生の交換を目的とする奨学金を支給している。その規模は1982年度には全世界で1,297人に12,533,000ドルを支給し、その内日本から171名、私どもの第266地区からは8名を海外留学に送り出され、素晴らしいものである。本委員会はこの留学制度への希望者を募集して選考することを大きい仕事としている。またこの地区への海外からの奨学生を受入れる働きもしている。

1. 委員会の方針

- 1) 「手続要覧」に示された財団奨学制度の目的とその学生の資格等に関する要綱が地区の各クラブに徹底するように努め、奨学生候補を積極的に推薦される活動がさかんになるようにする。

2) 候補者の選考については、前年度委員会の選考基準を踏襲するが、主題の内容についてはさらに検討する。

3) 当地区へ海外からの奨学生を受入れることに関しては、国際交流の実をあげ得るように各クラブの協力を得て努力する。

2. 活動の計画

1) 奨学生候補者選考の結果

1984年3月1日にて締切られた候補者は39人(男21, 女18)で、英米語27人、ドイツ語5人、イタリア語3人、デンマーク語2人、フランス語とスペイン語各1人。第一次試験(4月14日実施)に合格したもの男女各8人、第二次試験(4月23日実施)8人(男3、女5。英米語7、仏語1)第1補欠女子(英語)第2位補欠男子(デンマーク語)。これ等をロータリー財団本部(アメリカ)に推薦し、9月に発表される最後の報告を待期中。

2) 次期('86~'87)奨学生候補選出日程

ロータリー財団奨学制のタイムテーブルが5月~6月の本部理事会にて訂正され、その結果が7月1日付の航空便にて知らされてきた。それによって'86~'87年度奨学金申請に関する広告ポスターの発送、試験実施方法を大幅に変更せなければならなくなった。旧新のタイムテーブルを比較して示す。

事 項	旧	新
I. '86~'87年度奨学金申請に関する書類のG. O. への郵送(ロータリー財団より)	1984年7月	1985年3月
II. 志願者が申請書とその資料をクラブへ提出する締切日	1985年3月1日	1985年10月1日
III. スポンサークラブが確認した、志願者申請名簿のG. O. への提出締切日	1985年4月1日	1985年11月1日
IV. G. O. が確認した志願者申請名簿をロータリー財団への提出締切	1985年5月15日	1985年12月1日
V. 奨学金受領合格者のロータリー財団よりの発表	1985年9月	1986年2月

従来は10月頃から奨学金制度をPRするポスターが各クラブに送り届けられたりしていたが、今年度はそれが来年の初めとなったので、候補者選考の第一次試験は、11月9日(土)ぐらゐに施行せねばならないように思われる現在である。

【3】研究グループ交換委員会

委員長	木川 稔 (摂津)	委員	堀内 顕 (八尾東)
委員	山中文和 (大阪南)	〃	木村康郎 (大阪西南)
〃	村上 実 (池田)	〃	百々 貞雄 (大阪東)
〃	小林 龍三 (大阪)	〃	中西 正二 (大阪西)

今年度当委員会の活動計画は、前半は派遣準備に、後半は受入れに備えたい。

(1)派遣地区 第111地区 (英国) Southern England

(Hampshire, South-Wiltshire, East-Dorset) 並びにChannel群島。

(2)派遣期間

昭和59年9月1日より同年10月5日迄。

(3)派遣グループメンバー選出

去る5月14日YMCA本部に於て、選考委員会を開催、当日出席者の選考を行い、厳正且つ公平に内5名を選出 (補欠1名) した。5名の氏名及び申請クラブは次の通りである。

村上 栄一 (大阪北RC)	岡 哲也 (大阪北RC)
松井 路易 (茨木RC)	中栄 一誠 (摂津RC)
森野 高晴 (八尾東RC)	

(4)グループ教育活動

第1回目のオリエンテーションは去る5月20日にガバナー事務所にて、世戸、戸田、伊瀬パストガバナー並びに百々、村上委員及び木川団長より「ロータリーについて」の講義と派遣に当り、注意事項が伝達された。

(5) 其の他の実施要項

第2回オリエンテーションは、6月23日(土)午後2時より、堂島、YMCA国際社会奉仕センターに於て、「派遣に当たり、諸心得について」のテーマのもとに開催。講師はアメリカVermont及びNew Hampshire(第787地区)派遣、元G. S. E. 団長、中田康仁氏(大阪南RC)及び同団員、藪本憲靖君(コカコーラKK 中兵庫自販所長)から非常に有益なお話を拝聴。続いて花柳邦三郎先生指導の踊り「花笠音頭」を練習。

第3回オリエンテーションは、7月21日(土)午後2時より、第2回目同様、YMCA国際社会奉仕センターに於て開催。

最初に「テーブルマナーについて」と題して、レストラン「富」支配人、牧内氏より懇切な指導を受ける。

続いて、財団部門担当 パストガバナー戸田孝氏より「ロータリーとは」

「見つけよう奉仕の新生面について」及び「ロータリー決議23-34-第1要点と第2要点について」と題して、約40分間御持参の印刷物での、明快なお話に関員一同深く感銘する。

次に、G. S. E. 委員 百々貞雄氏(大阪東RC)より「ロータリー小史及び財団(特に当地区GCE史)について」特に懇切なる講義を受ける。同氏の蘊蓄あるお話に、一同感服する。

最後に、英国第122地区派遣元G. S. E. 団員長尾圭造君(桃山病院精神科医)のスライドによる「諸心得」に関員一同、心に銘記したものと確信する。

尚、第4回オリエンテーション(宿泊)は8月11日(土)高槻かまぶろにて開催の予定。又、歓送会は8月25日(土)大阪クラブにて開催の予定。

(A) グループ全員に保険契約をする

(B) 団服の作製

(C) 航空日程の作成

(6)去る5月17日、木川団長には第111地区サザンプトンにて、Harry Parsonsガバナー、Graham Smith、G. S. E. 委員長並びに二人の委員を交えて派遣について懇談。大いなる成果を得る。
世戸ガバナーの信書をParsonsガバナーに手渡す。

【4】財団学友委員会

委員長 田中 穰 二 (大阪西南)
委員 湯川 泰 秀 (大阪)
" 黒田 巖 之 (大阪淀川)
" 山村 幸 明 (吹田西)

本年度も引き続き、第264地区委員会と合同で下記の活動計画を進める。

1) 財団学友名簿の整備

本年度より当地区が海外より受入れた奨学生の名前を名簿に記載する。
また、学友の近況把握に努め、RIやロータリーの友事務所との連絡を密にして学友原簿の整備をはかる。

2) 財団奨学生へのオリエンテーション

財団奨学金委員会と共催でオリエンテーションを数回開催するが、本年度より奨学生候補者決定直後に予備オリエンテーション(5月14日実施済み)を行い、留学準備に着手させる。また、昨年度実施した学友との一泊研修が有効であったので、本年度もパストサービスクラブに協力して実施する。

3) 財団学友懇談会の開催

本年度も企画運営をパストサービスクラブに依頼して行い、新旧学友、財団関係者との親交を深める。また、海外よりの受入れ奨学生も招いて友好の輪をひろげる。

4) 財団月間等の学友卓話幹旋

財団月間の学友卓話依頼が年々増えているが、要望に積極的にこたえると共

に可能であれば海外よりの受入れ奨学生の派遣も考える。

5) 顧問ロータリアンとの連絡

奨学生の正式決定後、すみやかに顧問ロータリアンの委嘱をガバナーにお願ひして、奨学生との接触を依頼し、文書連絡やオリエンテーションその他の会合に出席を要請して相互連絡を密にする。

6) 学友パストサービスクラブの助成

学友パストサービスクラブ（略称PSC）の活動に積極的に協力して助成をはかると共に、オリエンテーション、懇談会などへの協力を求める。

R. I 第 2 6 6 地区年次大会

大会委員長 多 屋 良 三 (東大阪)

幹 事 小 菅 和 (")

前年度末ホストクラブを中心に協議を重ねてきましたが、地区プログラム委員会も下記の通り構成メンバーが決定されましたので、新年度に入り P. G の臨席をいただいて積極的に準備を進めます。

地区プログラム委員長 泉 宗三郎 (東大阪)

" 委 員 絹 川 治 (大 阪)

" 古 市 実 (大阪北)

" 中 田 康 仁 (大阪南)

" 山 畑 雅 裕 (八 尾)

" 広 沢 敏 夫 (大阪西)

今年度は地区分割後三回目の地区年次大会であり、殊に一昨年、昨年度は出席率が良好であり、57クラブ会員数 3,970名と増強されましたので、本年度はより一層の参加者を得て、更に盛大な大会を挙行するよう努力を致します。

◎予定開催要綱は次の通りです。

開催日及び場所

1985年4月4日(木)

- ・記念ゴルフ大会 茨木 C. C (予定)
- ・会長幹事懇談会 ロイヤルホテル
- ・R. I. 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 ロイヤルH

1985年4月5日(金)

- ・大会第1日 大阪厚生年金会館(大ホール)
- ・希望晩餐会 ロイヤルホテル

1985年4月6日(土)

・大会第2日 大阪厚生年金会館(中ホール)

◎ホストクラブ 東大阪R. C.
コ・ホストクラブ 東大阪東、東大阪中、八尾、八尾東、八尾中、
大阪柏原の各R. C.

◎大会事務局

〒542 大阪市南区千日前2-5-2

歯科センタービル6F ガバナー事務所内

TEL. (06) 631-4169

大会第1日、及び第2日記念講演その他のプログラム等目下準備中です。

大会第1日記念講演は、茶道遠州流家元(小堀遠州十三世)小堀宗慶宗匠(東京南R. C.)を予定しています。

新年度になり次第プログラムの構成を進める方針です。

地区資金委員会

委員長 吉村清三

委員 佐藤桂一

“ 前島淳

1984年～1985年度の第266地区は地区分割後3年を迎え、分区後の繰越金を喰い潰し、ここに地区としての自前の予算を編成しなくてはならなくなり、去る3月の諮問委員会に於て地区資金の1人当り分担金を2,000円増額して15,000円とすることが承認されました。それと前年度地区拡大委員会及び各クラブでの会員増強委員会のご努力により、1984年3月末で会員数3,884名(期初より159名増)に増強されました。これによって別紙の如く予算を作成し、1984年6月16日の地区協議会に於て承認を得ました。

地区資金委員会としては、各委員会に対し十分におこたえ出来る程の予算編成

が出来ませんでした。新ロータリー年度の発足に当り、各パストガバナーのご助言と地区委員会、委員長、委員各位のご理解を得、諸経費の合理化と予算に見合った実行を切に願います次第です。

地区委員会役員

委員長 吉田 誠

副委員長 田中 隆

幹事 藤田 隆

収 支 予 算 書

作成月日 昭和 59 年 4 月 21 日
承認月日 昭和 59 年 6 月 16 日

収 入 の 部

科 目	予算額	前年度予算額
前 期 繰 越 金	7,350,000	12,000,000
R. I. 交 付 金	1,300,000	1,500,000
地 区 資 金 15,000円×3,900人	58,500,000	48,100,000
雑 収 入	1,000,000	300,000
合 計	68,150,000	61,900,000

(13,000円×3,700人)

地区ガバナー 中村俊一
地区資金委員長 吉村清三
地区会計 小菅和

支 出 の 部

科 目	予算額	前年度予算額
委 員 会 活 動 費	14,200,000	12,970,000
地区指名委員会 意義ある業績賞委 員 会	120,000 30,000	120,000 30,000
クラブ奉仕部門	150,000 200,000 120,000 80,000	120,000 200,000 120,000 80,000
職業奉仕部門	100,000	100,000
社会奉仕部門	100,000 100,000	100,000 100,000
青少年奉仕部門	1,800,000 2,600,000 3,500,000	1,800,000 2,500,000 3,500,000
国際奉仕部門	150,000 350,000 350,000 100,000 100,000 150,000	150,000 300,000 350,000 100,000 100,000 150,000
拡大部門	150,000	150,000
ロータリー財団部門	600,000 2,500,000 250,000 350,000	500,000 2,000,000 150,000 250,000
委員会活動予備費	250,000	0
会 議 費	5,500,000	5,500,000
地区大会 地区協議委員会 地区大会交通会 ガバナー打合せ	300,000 300,000 1,800,000 120,000 120,000 1,000,000	300,000 300,000 1,800,000 120,000 120,000 1,000,000
R. I. 会長代理 同前ガバナー G. N. 国際	150,000 350,000 250,000 500,000 610,000	150,000 350,000 250,000 500,000 610,000
日本国内国際ロータリー地区ガバナー連絡会議	750,000	740,000
ロータリー文庫協力費 200円×3,900	780,000	740,000
地区大会分担金 3,500円×3,900	13,650,000	11,100,000
地区大会補助金	0	2,000,000
ガバナー月信印刷費	6,500,000	6,200,000
製版、印刷、送料、ホルダー 予備	6,000,000 500,000	6,000,000 200,000
事務所経費	16,340,000	14,300,000
事務所費 予備費	15,840,000 500,000	13,800,000 500,000
予 備 費	1,000,000	1,000,000
合 計	58,720,000	54,550,000
次 年 度 繰 越 金	9,430,000	7,350,000

	58年12月末現在	57年末
クラブ数	54	53
会員数	3,830	3,700

事 務 所 経 費 内 訳		
科 目	予算額	前年度予算額
借 室 料	2,500,000	
光 熱 費		850,000
給 料	7,500,000	7,500,000
ガバナー交通会合費	1,040,000	850,000
印 刷 費	800,000	700,000
交 通・印 刷 費	1,700,000	1,600,000
文 献 費	150,000	150,000
事務用消耗品費	1,500,000	1,500,000
什 器 備 品 費	150,000	150,000
雑 費	500,000	500,000
予 備 費	500,000	500,000
合 計	16,340,000	14,300,000

